

社会調査法 社会福祉調査法

第6回
2016年5月18日

社会調査とは

- 世の中で起きている社会現象をデータとして収集し、データを分析することで、世の中の社会現象を**定量的**に捉えること
- 経験と勘のみでは、社会現象を正しく理解できなかつたり、問題の解決にはつながらないことがある。
- 科学的なデータ（エビデンス）から客観的に社会現象をとらえることで、政策評価を行うことができる。

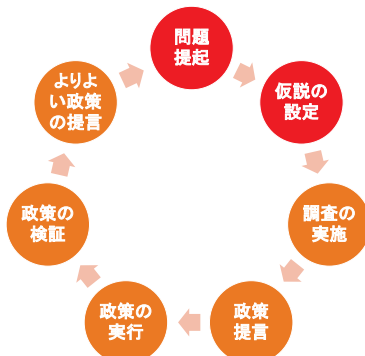
第1章—第3章おさらい

社会調査の必要性

- 問題の原因となることを客観的に説明することができるか？
 - 漠然と〇〇が原因であると主張するのではなく、データ（結果）から、〇〇が原因を証明する。
- 政策を定量的に検証することができるか？
 - 政策を実行した場合とそうでない場合とで、効果が〇%異なる。

社会調査の目的


- PDCAサイクル的な原因の過程と結果の分析



従来 of 社会調査

- 衆議院選挙では、どの政党に投票しますか？
 - その政党を選んだのか理由がわからない。
 - 消費税？景気？Etc → 追加の質問が必要
- JRおおいたシティができれば訪れますか？
 - 多くの人は、行きたいと答えるだろう。
 - できれば、本当に行くのだろうか？
 - 「その人」が本当に行ったかどうかを確かめるのは難しい

従来 of 社会調査の問題点

- 因果関係を探る形での調査デザインが行われていない。
- 
- 従来 of 社会調査では、回答した**結果**の**原因**がわからないことが多い。

まちの活性化政策

- 主な活性化政策
 - LED照明などハードウェアの整備
 - パンフレット、冊子の配布
 - イベントによる集客
- 補助金を頼りにしている
 - 効果の検証は、歩行者通行量や売上の増減で、その原因を追及することがないので、次につながらない
 - パンフレットを配布したら何人の人が来たのか。
 - イベントによって各店舗にどのくらいの効果があったのか。（費用対効果）

調査データと科学的な方法による地域にあった政策が必要

NBU 現象を客観的に捉える

• JRおおいたシティができると、大分都心部はどのように変化するのか？

- 消費者の回遊行動の変化するか？
- 郊外SCから人は呼び込めるか？
- 中心商店街は衰退するのか？

NBU 定量的な調査の実施

• 将来のまちの動向を予測する手法は？
• 定量的な調査を実施する。



NBU この講義の目的と到達目標

- 問題意識を持ってもらう
 - 例) JRおおいたシティができると大分都心部はどのように変化するのか？
 - 客観的にものごとを見る力を養う
- その問題はどうして起こるのかを調べるためのアンケート調査の企画設計
 - 原因と結果の関係がわかるような調査の設計
 - 企画力を養う
- アンケート調査にもとづく現状分析や将来予測
 - 論理的に物事を主張する力を養う

NBU 中心市街地の衰退化

- 社会現象の1つとして中心市街地の衰退化がある。
 - 原因は？
 - 少子化？
 - 高齢化？
 - 郊外SCの台頭？



2012年(別府市銀座商店街)

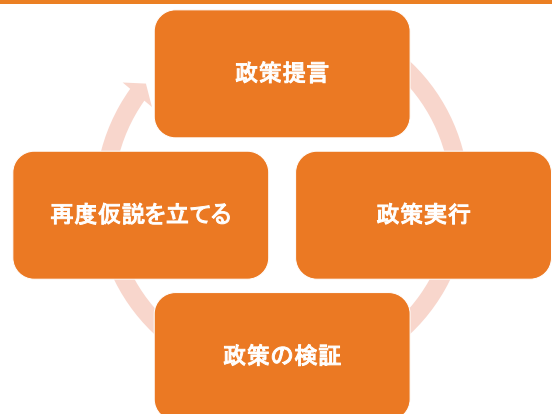
NBU 仮説をたてる

• なぜ、そのような問題が起こるのか仮説を立てる

- 中心市街地の衰退化の原因
 - 仮説: 郊外SCに消費者が流れたと仮定する

• 仮説に従って、原因と結果の関係がわかるアンケートを設計する

NBU 政策提言



具体的な社会調査事例

観光満足度と再来訪意向 別府都心部消費者回遊行動調査から

- 観光での満足が高ければ、また、その観光地に訪れるのか？
 - 観光地である別府で調査を実施
 - 過去5年間、何回来ましたか？
 - 今後5年間、何回行きたいですか？
 - 観光は満足しましたか？
- 過去の来訪回数より将来の来訪回数が多い方が来訪意向は高い。



鹿児島天文館地区での社会実験を例に

調査の企画

「フリフリ天文館」アプリ

スマホを振ると
自分の位置周辺の地図を表示

アイコンをタップすると
アイコンが転がって、自分の位置周辺の店の場所を表示

お気に入り登録可能
お店の詳細情報を表示

	別府来訪回数の変化			計
	来訪回数の減少	変化なし	来訪回数の増加	
満足した (%)	23.1%	61.5%	15.4%	100% (n=13)
大いに満足した (%)	8.7%	26.1%	65.2%	100% (n=23)

別府での観光の満足度は再訪意向を高めている。
満足度を高めた原因は？

鹿児島天文館が抱える問題

天文館地区にたくさんお店があるのに、消費者にまったく知られていない。

- 対応：リーフレットを配布
 - リーフレットを見てどのくらいの集客があったのか分からない。(効果を検証していない)

スマホを使った情報提供

スマートフォンアプリで、消費者に情報提供をしてみよう。

- 消費者がどのお店を見たのか、どのお店に関心を示さなかったのか、ログデータからわかる。

君たちにできること

- 地域を自由に設定できる
- 提示するアイコンの個数や、カテゴリなどを自由に設定できる
- 情報提供の内容を自由に設定できる



- 問題意識を反映するように、アプリをカスタマイズして、データ分析を行うことができる。

データの可視化

天文館地区内の全参加者の行動ログ



モデルの構築と分析

モデル化

- 仮説を説明するモデルを作る
- 現状を分析する
- 政策変数の追加と変更によって、政策を実行したときの効果を予測する

用語の説明

- 選択確率とは
 - 複数の選択肢に対して、その選択肢をどのくらいの確率で選択するかを表す
- 確定効用とは
 - 選択肢から得られる満足度(効用)のうち、調査者(分析者)が観察することができる部分

仮説例 距離と方向

$$\text{選択確率 } p_m^i = \frac{\exp(v_m^i)}{\sum_{j=1}^n \exp(V_j^i)}, \quad j = 1, \dots, n$$

$$\text{確定効用 } V_m^i = \alpha \text{dis}_m^i + \beta \text{dir}_m^i$$

現在地から
店舗までの距離 進行方向か
どうか

確定効用は距離と、方向で決定するか？

パラメータの推定結果

パラメータ	推定値	標準偏差	t値	Pr > t
距離	-10.3285	0.3989	-25.89	<.0001
方向	0.3567	0.0886	4.03	<.0001

距離が遠い⇒タップされにくい
進行方向が同じ⇒タップされやすい



進行方向上の比較的距離が近い店舗を適宜、
情報提供することで、情報提供の効果が期待できる

この講義で学んでほしいこと

- 問題意識をもつ
- 問題となる原因は何かを理論的に考える
- データ(エビデンス)にもとづいた説明
- 回遊行動調査をはじめとする、調査の手法、企画、設計、実施と実践
- 分析結果から政策を提言



次の調査へ